

## 行革計画全般

- ・ 行革推進もよいでしょうが、それと財政赤字となった原因を明石市として明確にしていく必要があると思います。
- ・ 質の向上を目指しながらも心にゆとりのある職場であってほしいと願います。
- ・ 行政が民間の手本となる雇用制度を実現すべきである。明石市が現在進めている行革は時代遅れであるのは明確。
- ・ 明石市も二つの大きな事故の教訓があるにも関わらず、人員削減を容赦なくすすめ、仕事量は増やし、目標管理制度のために時間を使っている。サービス向上とは税金のムダ使いをなくすことであり時間外勤務をなくすことである。
- ・ 第4次行革計画は職員を大幅に削減する目標をかかげているがサービス残業や精神疾患発症者は増加していく一方である。このままでは「安全・安心」だけでなく市民サービスの低下も招きかねない状況になってしまうと予想されるので、より多くの業務を行っている者の声を聞いた上で計画をたててほしい。
- ・ 「安かろう悪かろう」はサービスの低下(対市民)を招くだけでなく、安全・安心を損なう。第2の歩道橋事故や砂浜事故が起こりそうだ。
- ・ 仕事の質まで踏み込んだ討論がなされていない感じがする。
- ・ 市民が自主的に行うべきことと行政が行うべきこととをきちんと選別して一貫性のある施策をとってほしい。
- ・ 「安全・安心」のために、ここだけは譲れないというものを私たちはしっかりと持っていなければいけないと思いました。そして何より市民の方が納得して安心して暮らせるようにしていかなければいけないと思います。
- ・ どこでコストを削減できるかももう一度見直してほしいです。職員の負担があまりにも大きくなるようであればサービスの向上どころか今できているサービスもできなくなるおそれもあると思います。
- ・ 一般企業と比べると市役所にはまだまだ「ぬるい」部分がたくさんあり、権利取得ばかりをふりかざすのではなく、一度自分達のおかれている立場をふり返ることも大切かと思えます。
- ・ 時代の流れだから仕方がない。
- ・ 特別職の人件費を下げろ！！

## 指定管理者制度・民間委託等

- ・ 収益性の低い施設を民間にまかせて、公的責任を果たせない場合、誰が責任をとるのか？責任を誰がとるのか明確にした上で議論すべきだ！！
- ・ なぜ将来を担う子供達が利用する施設を民間に任せるのか？市の直営でやるべきだ！
- ・ 施設では、指定管理者制度の導入は体制を改善する好機である。
- ・ 民間委託による経費削減の一方、市民サービスの向上、安全面に不安がある。民間の管理責任はどこまで？人員削減を考えるまえに、特別職（議員等）の削減を。
- ・ 公立保育所があつてこそ、民間保育所の質の低下が防げるのではないかと私は考えます。福祉施設は利益優先主義に走らぬよう、市が守っていくべきものだと思います。
- ・ 指定管理者制度という民間委託には反対です。人員削減、コスト削減のみに目を向け、安全面がおろそかになるのは明らかであり、より良いサービスを提供していくことと反しているのではないのでしょうか。
- ・ 民間委託は悪いことではないと思うが、それで安全は確保できるのか？と不安で仕方ない。心のこもった計画に感じられない。
- ・ 委託を進めていく中で、「コスト削減」「人員削減」を行う行革にも疑問を感じる。少ない人数と予算の中で目に見えないリスクを背負って働くことをもっと深く感じてほしい。
- ・ 対象施設の職員は専門的な知識をもった職員も人事異動になるのでしょうか？
- ・ これまで直営で運営してきた意味は何だったのか、何が良くて何が問題であったのか。それに対して今、指定管理者制度を導入する意味は何なのか。それによって今後どうしようと考えているのかというようなそれぞれの施設のあり方や内容から、導入すべきかどうかについて本来は考えるべきはずである。各施設について今なぜ指定管理者制度を導入しなければならないのか、明石市は明確な考えを示すべきである。
- ・ 不採算部門はすべて民間へという感じがある。民間委託・指定管理が効率的な経営のみでサービス等の品質の維持が可能かどうか疑問である。
- ・ 保育所の民間委託反対！これからの明石、日本を担う子どもたちの生活の保障はやはり、公的機関で守っていくべき。
- ・ 指定管理者制度をあまりにも安易に考えているのではないか、官でなければいけない事は官で守っていく姿勢を崩さないで守ってほしい。

- ・ 公立保育所の民営化阻止。子どもや市民、保護者のニーズにも応えていくべきだが営利目的の団体でないからこそ、受けられる保育サービスもある。子どもの権利を奪わないでほしい。営利目的の団体ではなく児童福祉の視点から公務サービスを行う保育士の役割の大切さをわかってほしい。
- ・ 指定管理者制度の導入ですが、将来を担っていく子どもに対しては公が全面的に責任を持つべきだと思います。市にとって「経費がかかる＝お荷物」だから民間に任せるのですか。幼稚園では導入されないのに保育所で導入されるのは管轄が違うとは言えどおかしいと思います。保育所の子どもは守らなくてもよいのですか。
- ・ 民間に委託するということは市の管理がいきとどかないということではないでしょうか。十分なサービスを行うには、市が運営し、市が実行するべきだと思います。
- ・ 「民でできることは民で」の「民でできること」とはどのへんで線引きするのでしょうか。「箱物行政」のツケが回ってきて今になって指定管理者制度だ、民間委託だと言っているのは多分、自分のふところが全く痛まない管理職だと思います。もしかしたら中にはサボっている人もいるのかもしれませんがほとんどの職員は一生懸命仕事をしています。職員削減で業務が増え、結果、身体もボロボロになっていく。又、一生懸命仕事をしているにもかかわらず明日の、数年後の自分の仕事はどうなっているのだろうと不安にさいなまれる。「民間企業にいたらそうは言っていられない」という管理職もいますが、一度も民間企業で働いたことのない管理職にそんなこと言われたくない！とよく思います。管理職はまず自分の身に置き換えて考えてほしい。管理職ばかりいい目を見ないでほしい。不安な中での仕事は市民の方へのいい影響があるとは思えません。民間委託にしてコストだけ下げるのは責任のがれだと思います。“公”の良さをもっと生かしていく、残していく行革はできないものでしょうか……。民間経験者としては「民間委託してもいいことないぞ……」って感じなのですが……。
- ・ コスト面だけでなく、民営化することによりどのような利点があるのか理解できない。将来の市民にとって本当に有益なことであるのかよく検討していただきたい。（特に福祉、教育は利益を追求するものではないはず。なぜ民営化？）
- ・ 給食が一部民間委託された時のように突然するのは絶対にしてはいけない。保護者や地域の声をよく聞いてほしい。公立もあり、民間もあり、それぞれの特長を理解し、安心して子どもを預けられる保育所を保護者に選んでもらいたい。

- 公立だからできること。公立だから安心して任せてもらっていること。「公立だからこそ！」というのがある一方で「民間だからできること！」というのがあるということを私たちは忘れてはいけないことだと思うのです。
- 「民で出来ることは民で」と言う事ではありますが、本当に民間に任せて公的な責任ははたせるのか、不安です。

## 人員問題等

- ・ 職員を削減し、業務を民間に委託するというのは、利益優先の軽率な考え方であり、いつかまた重大な事故が発生する可能性があるのではないか！
- ・ 職員数削減して、市民サービスを低下させずに業務がまわるわけがない！
- ・ 管理職の人数を大幅に減らすべきである。
- ・ 時間外の規制によりサービス残業をよぎなくされている状況を考慮してほしい。
- ・ 業務が増えているのに、職員数が大幅に減っていつている。精神疾患も増えているため、健康な人の負担は増える一方だ。どう考えてもおかしいと思う。
- ・ 若手職員の増加を期待する。
- ・ 「人員と予算は削減し、サービス向上と安全・安心の確保」というのは矛盾していると思います。なんでもかんでも削減するのではなくて、とりあえず見直すことから始めた方がいいのではないのでしょうか。
- ・ 各分野バランスのとれた年齢層による職員配置が健全な自治体の姿ではないのでしょうか。若年層のやる気をなくすようなことにならないようにしてほしい。
- ・ ゆとりをもつ仕事は人の数や時間など人間らしい精神・心を持ってこそ出来るのではないのでしょうか。
- ・ 今後、人数が削減され、安全・安心な職場となると不安になります。
- ・ 人を減らした上に、以前よりも充実した仕事とと言うが果たして低コストで得られる物がなくす物より大きいだろうか？充実など無理。低コストでそこそこの内容をすれば良いと言う様に受け取れ怒りを覚える。
- ・ 仕事量が増えて給与は下がるのでは、職員の労働意欲の低下につながる。したがって、職員の労働意欲の向上のためにも、新たな手当の導入等、給与低下をカバーする対策を行ってほしい。
- ・ 市民と接する機会の多い職場の職員削減は避けるべきであると思う。
- ・ 正規職員の欠員等をアルバイト、臨時職員で仕事を処理していく中で無理な部分も多くある。
- ・ 人を減らすだけでは新たな問題が発生するだけ。
- ・ 人員削減はある程度はしかたがないと思いますがまず、管理職から減らすべきだと思います。

- ・ JR事故の一番の原因は運転手の過重労働にあったにも関わらず。速度やオーバーランといった目に見えるものばかりマスコミは取り上げ、目に見えない人の過労度、休暇も取らずに引き続き働かなくてはならない労働条件だったことは取り上げない。
- ・ 「市民サービス向上」と言いながら人員削減は相反することだと強く思います。機械的な人員削減は断固反対です。
- ・ 人件費削減で職員数を減らすなら一人当たりの仕事量が大幅に増えない工夫をしてほしい。
- ・ 余裕を持って仕事ができる人数の確保はしてほしいです。
- ・ 行革によって職員を削減できる職場とできない職場があると思います。恒常的に時間外勤務が多い職場は逆に職員を増員すべきです。
- ・ 人員減らし反対！！財政が苦しいのはわかるが人員減らせばOKというのはどうか！？事故が起きてからでは遅いぞ！！
- ・ 安全・安心な職場を守っていく為にも声掛けに終始することなく正規職員を確保して欲しい。
- ・ 人員削減についても、職員一人ひとりの負担を考慮して行って欲しいと思います。
- ・ 精神疾患発症者が増えているのが気になります。
- ・ 適正な人員配置をしてほしい。時代とともに変わるのとはかたないが内部の人員配置も根本的に見直さなければ病人ばかりになるのでは。
- ・ 削減については市民サービスが低下しないようにきちんと考えて実施する方がいいと思う。削減の必要な場所もあると思うのでそこをしっかりとみて欲しい。
- ・ 職員一人ひとりにより業務量（時間外量）が大きく異なるのはおかしいと思います。適正な人員配置をお願いしたいと思います。
- ・ 人員を削減し、民間委託することは本当に市民サービスにつながるとは考えられません。